

## CSはどんな病気？

普通の人では健康上とくに問題とならないような生活環境中のごく微量の化学物質に、身体が過敏に反応することによって、様々な症状があらわれる病気です。

シックハウスやシロアリ防除後の入居、手術や歯科治療をするなど、一度に大量の化学物質を体内に取り込んだときや、生活の中で微量でも繰り返し長期間にわたって化学物質に曝露され続けたとき、その方の適応能力を超えてしまうと発症します。

適応能力はそれぞれの方により個人差が大きく、栄養状態や遺伝的な体質、今までの生活環境によって大きく異なります。

## 症状は？

頭痛、頭が重い、めまい、下痢、吐き気、目の乾きやかすみ、光過敏、鼻血、鼻水、鼻づまり、耳鳴り、聞こえにくい、音に敏感、筋肉痛、肩や首のこり、疲労感、動悸、胸の痛み、咳、呼吸がしにくい、喉の痛み、湿疹、皮下出血、生理不順、不眠、不安感、うつ、記憶力や思考力の低下、いらいら・・・

同じ原因であっても人によって出てくる症状が異なること、いくつかの症状が広範囲にばらけて現れるのが特徴です。

CSを発症するとうつや不安、不眠などの症状が出るため、精神科や心療内科に受診する方も多いのですが、CSとは治療方法がまったく異なります。

## 患者の数はどのくらい？

内山巖雄京都大学名誉教授らにより、日本では人口の約7.5%がいわゆる化学物質過敏症対象者であるとする疫学調査が2012年に報告されています。世界的にも人口の10%前後が潜在的な発症者であると言われますので、現在日本には1000万人以上の方が自覚のないままに生活していらっしやると考えられます。

## CSにかかりやすい人は？

アレルギーを持っている人や新築の家に住む人、通勤族でリフォーム後の入居を繰り返した人、排気ガスの多いところに住む人、田畑・果樹園のそばや、農薬の空中散布のあるところで育った人、薬品を扱う職種や趣味で接着剤を使う人など。また家族にヘビースモーカーのいる人なども発症リスクが高いといえます。

## CSの人が苦しいものはあなたの身体にも悪い

CSの人は外出が苦手です。乗り物自体が定期的に消毒されている上に、乗客からは防虫剤や芳香剤、合成洗剤や柔軟剤のニオイのほか、整髪料や化粧品などのニオイがもやもやと漂ってきて息も吸えなくなります。あなたのお気に入りの香水や柔軟剤は周りの人を苦しめているかもしれません。

香料に直接接触しなくても、空気中の香料により頭痛や喘息、皮膚炎を起こすことがあります。また天然の香料であっても喘息に影響を及ぼすことが報告されています。香料の健康への影響は無視できません。

## 知らなければ危険がいっぱい

テレビで見慣れた、誰でも使っている合成洗剤の成分は、細胞膜を溶かし、本来皮膚からは入らないはずのものを体内に浸透させます。洗濯物に残って皮膚から入れば肌荒れやただれの原因となり、食器などに残留して口から入れば肝臓に障害を与えます。現在数人に1人と言われる乳幼児のアトピーは、合成洗剤の販売とともに急増していったのです。

つけっ放しの電気蚊取りやタンスの中の防虫剤は、喘息や乳児の突然死の原因になることがあります。カビ取り剤も危険です。トイレに芳香剤を置けば、毒ガス室で用をたすのと同じこと。

あなたは不要なもので健康を害していませんか？身体が本気で悲鳴をあげるまで、なかなか気づくことはできませんが、あなたの最近の不調はいつもあなたの使っている普通の日用品のせいかも知れません。

学校でもそんなことが起きています。

新築の校舎や体育館、クラスメートの柔軟剤や教科書のインク、文房具。子どもは苦しくても説明できず、学校に行くことを嫌がるようになります。子どもさんの塾や学校は新築やリフォームをしていますが？

## 子どもの鼻血は要注意

CSを発症すると子どもはたびたび鼻血を出すことがあります。帰宅してぐったりした様子がありましたら、学校で苦しいことはないか、尋ねてみてください。そしてまずは家庭の中から危険なものを排除しましょう。

## 電磁波の健康被害

現在の生活環境で問題になるのは化学物質ばかりではありません。CSを発症すると電磁波にも過敏になることがあります。また、電磁波過敏からCSに移行する場合もあります。

電磁波は感じなければ大丈夫なのではありません。身体に影響しない電磁波はないからです。携帯基地局や高圧線、家電の中でもIH調理器や冷蔵庫、交通機関の電磁波など、電磁波にはいろいろな種類があって、身体への影響も様々です。

冷蔵庫の裏の位置に子どもさんを寝かせていませんか？冷蔵庫から出ている電磁波は高圧線などと同じ。コンクリートの壁なども突き抜けてしまいます。また、赤ちゃんを抱っこしながらスマートフォンや携帯を操作しないでください。スマートフォンや携帯電話の電磁波は脳内に浸透するため、頭蓋骨の薄い子どもさんの通話はとくに危険です。

CSは発症者だけの問題ではありません。

CSの人が楽に生活できる社会は環境を害さない安全な社会。子どもに未来を保障できる社会をめざすべきではありませんか？